

◎下の文章を読んで、問いに答えましょう。



市販薬とは

市販薬は、医師の処方がなくとも薬局やドラッグストアで購入できる薬です。風邪薬や頭痛薬、胃薬などが代表的です。軽い体調不良のときに手軽に使える一方で、用法や用量を守らないと副作用が出ることもあります。そのため、説明書をよく読み、正しく使うことが大切です。

- (1) 市販薬はどこで購入できる薬ですか。
- (2) 市販薬の代表的な例にはどんなものがありますか。
- (3) 市販薬を使うときに注意すべきことは何ですか。

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品は、新薬（先発医薬品）の特許が切れたあとに、同じ有効成分を使って作られる薬です。効果や安全性は新薬とほぼ同じですが、開発費が少ないため価格は安くなります。厚生労働省の調査によると、ジェネリックに切り替えると薬代を3～5割節約できる場合があります。

- (1) ジェネリック医薬品はどんな薬の特許が切れたあとに作られますか。
- (2) 新薬とジェネリックで共通しているのはどの部分ですか。
- (3) ジェネリックを選ぶと薬代はどのくらい節約できる場合がありますか。

◎下の文章を読んで、問いに答えましょう。



市販薬の注意点

市販薬は便利ですが、病気を根本的に治すわけではありません。例えば、風邪薬は症状をやわらげる薬であり、ウイルスを直接治す薬ではありません。また、持病の薬と一緒に飲むと相互作用が起きる可能性もあります。体調が長引く場合は、市販薬に頼りすぎず、医師の診察を受けることが大切です。

(1) 市販薬は病気をどのように治す薬ではないと書かれていますか。

(2) 風邪薬は何を直接治す薬ではないですか。

(3) 体調が長引くときにはどうすることが大切ですか。

ジェネリックの安全性

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査を通過してから販売されます。成分の量や効き方、副作用の起こりやすさについて、新薬と同等であることが確認されています。ただし、添加物や形状が異なる場合があります。体質によって合わないこともあります。その場合は医師や薬剤師に相談が必要です。

(1) ジェネリック医薬品はどのような審査を通過してから販売されますか。

(2) 新薬と同等であることが確認されているのはどんな点ですか。

(3) 添加物や形状が異なるときに起こりうることは何ですか。

◎下の文章を読んで、問いに答えましょう。



薬の使い分け

体調が軽い場合は市販薬で対応できることもありますが、重い症状や長引く症状には医師の処方薬が必要です。ジェネリック医薬品は、処方薬を安く利用したいときに役立ちます。自分の症状や生活に合わせて、市販薬、先発薬、ジェネリックを上手に使い分けることが大切です。

- (1) 体調が軽い場合はどんな薬で対応できることがありますか。
- (2) 重い症状や長引く症状のときに必要なのはどんな薬ですか。
- (3) 薬を上手に使い分けるときに大切なのは何ですか。

薬を安全に使うために

薬を安全に使うには、自己判断だけでなく、薬剤師や医師に相談することが重要です。特に複数の薬を使っている場合は、飲み合わせによる副作用の危険があるため注意が必要です。厚生労働省の調査では、薬を複数服用している高齢者の約3割に、飲み合わせに関する問題が見られました。相談を習慣にすることで、安全に薬を利用できます。

- (1) 薬を安全に使うために大切なのは誰に相談することですか。
- (2) 複数の薬を使っている場合に注意が必要なのは何ですか。
- (3) 調査で薬を複数服用している高齢者の何割に問題が見られましたか。